



Lagopus
Sustainable Agriculture

2025年8月
株式会社 Lagopus

会社概況

- 株式会社 L a g o p u s (ラゴプス)
- 長野県伊那市 中山間地域
- 社員1名(季節臨時1名程)
- 経営面積 計392a (自社259a+受託133a)
- 栽培作物 米、麦類、豆類
- 栽培方法 自然栽培(特裁),有機+DDSR
- 主な販路 国内酒蔵,Wakkaグループ様



経歴



名前 谷口 修

出身 佐賀県唐津市

年齢 40歳

《経歴》

- 22年9月 サントリー食品インターナショナル（株）退職
 - 22年2月～23年3月 アグリノベーション大学校卒業
 - 22年9月 有機農家 農楽（NO-RA）見習い
 - 23年4月 長野県新規就農里親研修制度「Wakka Agiri」(2年間)
 - 25年3月 農業生産法人 Lagopus 営農開始
-

「酒米を生産し、日本酒の価値を世界に広げたい」



Bio sake「つなぐ」

企画 (社)オーガニックビレッジジャパン

圃場や水利、地域の環境に応じて最適な方法を選び取る
「条件適応型」農業を目指しています
(農法は多様な社会や消費ニーズに応える手段)

◆オーガニックの位置づけ

オーガニック食品は、安心や自然との調和を重視する消費者にとって特別な価値（＝ブランド）を持つ選択肢です。当社はそれを尊重し、食卓に健やかさと豊かさを届けます。

◆節水型乾田直播の位置づけ

DDSRは、省力化(担い手不足)に加え、環境負荷を含めた総合的なアセスメントにおいて有効な選択肢です。単に温室効果ガス削減だけでなく、労力軽減や水資源利用効率といった幅広い観点から農業の持続性を高めます。(作期分散)

◆当社が目指す姿

オーガニックとDDSRという異なるアプローチを、圃場の条件や社会的要請に応じて柔軟に組み合わせることで、社会や消費者の多様なニーズに応え、農業者自身の持続可能性も確保します。「状況に応じて最適解を選び取る柔軟性が、次世代につながる農業の姿」であると考えます。

販売チャンネル



限りある資源…



自然環境と調和し、
日本の豊かな飲食文化を世界に届けたい

